

## 5月18日：ビンググループが軟調、ベトナム株は下落

ビンググループとその子会社の銘柄に売りが出たことで相場全体の重しとなり、この日のベトナム株は軟調な展開となった。

ホーチミン市場のVN指数は0.48%（6.02ポイント）高の1,252.68ポイントで取引を終えた。

同指数は前日に0.60%安の1,258.70ポイントで引けていた。

騰落別では274銘柄が下落、143銘柄が上昇し、46銘柄は変わらずだった。

出来高は高水準となり、売買高は6億9,250万株以上、売買代金は21兆ドン（9億1,500万米ドル）だった。

ビンググループ、そしてその子会社の株価は振るわず、ビンググループ（VIC）、ビンホームズはともに値を下げた。

それぞれの下落率をみると、ビンググループ（VIC）が-2.4%、ビンコムリテール（VRE）が-2.3%、ビンホームズ（VHM）が-1.9%と軟調だった。

アジアコマース銀行（ACB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、ヴィエティンバンク（CTG）、サイゴンハノイ銀行（SHB）、ベトコムバンク（VCB）、VPバンク（VPB）、HDバンク（HDB）といった銀行株も利益確定売りを受け、冴えない展開となった。

「この時期、株価を支える買い材料が不足している。よってVN指数は短期的に新たに下値を固めるため1,200～1,220ポイントから1,275～1,285ポイントの間で上下しながら推移していく可能性がある」（バオベト証券）

「投資家は自身のポートフォリオの30～35%を株式で保有するのが良い、株式は中期で保有することを優先し、VN指数が1,200～1,220ポイントの下値支持線を試す時には短期でショートポジションを取ることを考えるのが良い」（バオベト証券）

セクター別では全28業種のうち、保険、水産加工業、不動産、農業、家電製品、運輸、建設、銀行、ゴム生産、証券、ヘルスケアといった25業種が売られた。

指数は0.53%高の1,378.59ポイントで取引を終えた。

同指数のうち、11銘柄が上昇、18銘柄が下落した。

一方でハノイ取引所では、HNX指数が0.72%安の294.64ポイントとなった。

同指数は前日に0.70%高の296.79ポイントをつけた。

売買高は約1億2,300万株、売買代金は2兆5000億ドンとなった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。